

→前ページから続き

- (2) アナフラキシシー・ショック等の副反応報道がなされている中、ワクチン接種に不安を抱える町民も多い。また、今後ファイザー社のワクチンに加えモデルナ社やアストラゼネカ社のワクチンの薬事承認が期待される中、ワクチンの安全性等について、タイムリーで分かりやすい丁寧な情報発信に取り組まれない
- (3) 接種券と同時に郵送される接種会場の一覧表や予約の案内などが同封されているが、文字が小さく、高齢者などが理解するのに苦労している現状がある。今後の印刷に当たっては、文字の拡大や色の工夫などに留意するとともに、独居高齢者等予約を自力でできない方のサポート及びコールセンターの回線を増やすなどにも留意されたい
- (4) 集団接種会場において、事前に予診票を記入していないことも想定される。会場でアドバイスを受けながら記入できるよう、アドバイザー職員と記入用の座席の確保など配慮に努められたい
- (5) 自力で接種会場に赴くことが困難な接種希望者等のため、移動のためのタクシーの活用など、必要な支援策を検討し実施されたい。また、必要な場合は、訪問診療などを活用し訪問による接種も検討すること
- (6) 今後、高齢者の優先接種と基礎疾患を有する者への優先接種が並行して行われることも想定される。国から示されている「先行予約期間」の設定を適切に行い、この期間においては、障がい者の方々等へのきめ細かな配慮を行い、速やかな予約につながるよう特段の取り組みを行われたい
- (7) 視覚・聴覚障害、発語障害、精神疾患などのある接種希望者に対しては、事前の情報提供の充実と接種会場での円滑な接種に必要な手話通訳や筆談ボードなどの合理的配慮を十分に講じられたい
- (8) 車いす利用の接種希望者が会場で移動の不自由が生じないよう、スロープの用意や幅広い動線の確保、車いす対応トイレへのアクセスなど、合理的な配慮を十分に講じられたい
- (9) 今後、一般の町民を対象とした接種も想定し、特設会場による集団接種のみならず、地域のかかりつけ医などでの接種が広範にできるよう、国が新たに示した接種単価の上乗せや医師・看護師等の派遣事業など活用の上、さらに、地域医師会との協議を進められたい
- (10) 先行予約期間における処遇として、9月に海外に留学する学生・生徒について、ワクチン接種が義務付けられていることから、留学するまでに2回の接種が実施できるよう配慮されたい
- (11) 集団接種会場における経過観察時間を活用して、接種済者が注意すべき事項、例えば接種後すぐに体内の免疫が形成されるわけではなく引き続き十分な感染予防が必要であること、翌日に発熱などの副反応が顕著であることなどについて、また2回目の接種時にも、個人差はあるが発熱や怠惰感等副反応の説明等分かりやすく周知を図るチラシの配布や映像など上映を用意されたい
その上で、多数者に副反応が起きた場合、医療機関に過度な負担がかからぬよう、あらかじめ対策を講じられたい

公明新聞の御購読をお願いします。

(日刊1ヶ月1,887円、日曜版293円 お得な電子板は日刊月額1,500円、日曜版250円です！)

お問い合わせは→川島さゆり TEL 080-9804-7656 までお願いします

さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135

ごあいさつ

皆様のお力で議会に送って頂き、この5月で3期目任期の半分が過ぎましたが、この度議会構成で、私は、議会運営委員会副委員長と総務常任委員会委員長、佐久市軽井沢町清掃施設組合議会副議長という大任を拝しました。任期満了のその日まで、しっかりと皆様のお声を町・県・国へお届けし、原点に立ち返ってもう一度頑張って参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。いよいよ新型コロナワクチン接種が始まりましたが、公明党は、新型コロナウイルス感染症収束の為にワクチン接種を力強く推進して参ります。高齢者の方が終了次第、64才以下の基礎疾患のお持ちの方そして一般の方と接種が始まりますので、皆様の御協力宜しくお願い申し上げます。過日、公明党長野県本部、東信総支部、軽井沢支部支部長川島として副支部長眞島議員と共に、町長・担当課長に緊急要望を2回させて頂きましたので、この通信でお伝え致します。



©KOMEITO

活動レポート



女性局遊説活動



佐久市議会棟視察

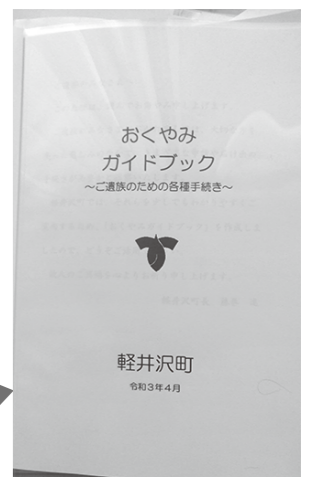


古宿区
花うえの会に参加



御代田町議会棟視察

お悔やみガイドブック



みなさんの
お声が叶いました

2021年6月会議 一般質問から

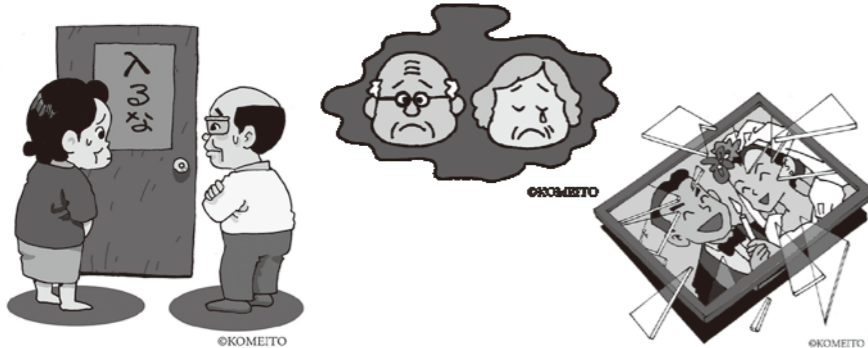
イラスト：斉藤暁雄



「全ての住民相談を受けるために『断らない相談窓口』設置と『つなぐシート』活用について」を質問!!

問い

住民の複合的な困り事相談体制は。



答え

生活困窮、医療、介護等定期的に町民法律相談や各種相談窓口を設置し、関係部署へ繋いでいる。保健福祉課では、相談を受けた職員が個人シートを作成し、各担当課と情報共有し、必要に応じて相談者に寄り添う対応をしている。

問い

全ての住民の複合的な相談をじっくり聞かために「断らない相談窓口」の設置を。



答え

特に相談の多い各部署に専門職が配置されているので、各課で十分話を聞き、関係課に繋げている。専用窓口ではなくどの課でも相談が受けられる体制としていく。

問い

神奈川県座間市で成果を出しており、各課共有でたらい回しを防いでいる「つなぐシート」の導入は。

答え

国が推進する重層的支援体制の整備において有効なツールと考えるので、今後導入に向け各課と協議していく。

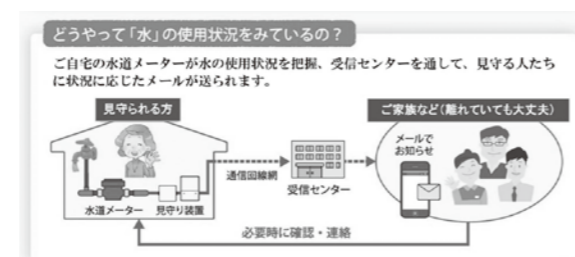
「水道スマートメーターで高齢者の見守りをするについて」を質問!!

問い

坂城町では、通信機器を備えた「水道スマートメーター」を設置することで、水道使用量等データが水道管理局に送信され、検針票の電子化、漏水の早期発見に繋がっている。さらに「元気メール」や「異変メール」で、遠く離れて住んでいる家族に送信し、高齢者の安否確認ができるが導入は。

答え

当町は一部の世帯が町営水道ではないので不可能であり、通信の安定性や価格が下がらない限り導入は厳しい。今後、大都市での導入の動きがあるので、情報収集を図っていく。



藤巻町長に緊急要望をさせて頂きました! 1回目(令和3年4月14日)

「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」

コロナ禍が長引く中、若者が収入減等の経済的な理由により生理用品の確保できない状況、いわゆる「生理の貧困」が問題となっている。

大学生らでつくる任意団体「#みんなの生理」が今年3月に発表した学生対象の調査によると、過去1年間に経済的理由で生理用品の入手に苦労した人は20%、代替品を使った人は27%に上り、37%が交換頻度を減らしたと回答している。又「生理の貧困」は収入が不安定になった方やその家庭にも暗い影を落とし、NHKの取材等において貧困やネグレクト等により親から生理用品を買ってもらえない、買って欲しいと言い出せない子ども達がいる実態も明らかになった。

これは大変憂慮すべき事態であり、公明党の社会的孤立防止本部は、3月15日、国へ緊急提言を行った結果、「地域女性活躍推進交付金」の追加措置により、困難を抱える女性に寄り添った支援を大幅に拡充することとなった。

軽井沢町においても、困っている子どもから若者への生理用品無償配布と共に、コロナ禍において、隠れた様々な課題を把握し、社会との絆や繋がりが薄くなり不安を抱えている女性に寄り添える支援を行うよう、以下の通り緊急要望する。



1. 様々な事情により生理用品を用意することが困難な小中学生、高校生、大学生など若者への提供

- (1) 学校の保健室での相談、支援体制の充実
- (2) 配布にあたっての場所や渡す方法等プライバシーへの配慮
- (3) 防災備蓄している生理用品の配布活用

2. 不安を抱える女性に寄り添った支援充実の検討及び国の「地域女性活躍推進交付金」特に「つながりサポート型」の活用

- (1) 女性の相談機能の強化、相談支援を行う人材育成、女性の貧困に関する実態調査の検討
- (2) 民間団体等の支援により、不安を抱えた女性の居場所づくり、生理用品等の提供

藤巻町長に緊急要望させて頂きました! 2回目(令和3年5月19日)

「新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望」

政府は、新型コロナウイルスの変異株などによる全国的な感染拡大に対応するため、3回目となる緊急事態宣言を発出し、さらに、5月31日までの期間の延長、6都府県への区域拡大やまん延防止等重点措置の延長・追加などの対策がとられているところである。

こうした取り組みの中で、今まで以上の感染予防対策の実施や医療提供体制の拡充とともに、何よりも、町民への円滑かつ迅速なワクチン接種を進めることが重要と考える。

コロナワクチンの接種は、今までにない国民的事業であり、希望する全ての町民が接種対象であり、万全の準備が必要と考える。については、軽井沢町におけるワクチン接種の体制整備について、下記とおり緊急要望するものである。



- (1) 政府は、7月末を念頭に高齢者へのワクチン接種を終えられるよう取り組むとしているが、多くの高齢者が接種を希望していることから、当町の接種計画を明確にするとともに、都道府県と密接な連携の下、まずは、接種に当たる医療従事者への優先的な接種を早急に行なわれない